

環境会計

環境省ガイドラインを参考に、環境会計を導入しました。2000年度の環境保全コスト、経済効果、物量効果は次の通りです。環境保全コストに支出している項目とコスト

金額を算出し、対応する経済効果・物量効果を把握することによって環境対応が十分に行なわれているかどうかの評価を行い、環境経営の指標とします。

環境保全コスト

(単位 百万円)

分類	主な取り組み内容	金額
1.事業所エリア内コスト	公害防止、省エネルギー、省資源、廃棄物処理等	3191
2.上・下流コスト	容器・包装のリサイクル回収再製品化	1108
3.管理活動コスト	環境マネジメントシステムの運用・維持 環境負荷の監視・測定、環境管理組織人件費	278
4.研究開発コスト	環境配慮型製品等の研究開発	844
5.社会活動コスト	緑化・美化・景観等の環境改善 環境管理組織人件費	385
6.環境損傷コスト	環境関連の拠出金・課徴金	5
合計		5811
投資合計	水処理設備・省エネ設備等	2870
当該期間の投資合計		33126

環境保全対策に伴う経済効果

効果の内容		金額
実収入効果	廃棄物リサイクル売却益	1065
費用削減効果	省エネによる動力費削減・廃棄物削減による処理費削減	480

物量効果

項目	
エネルギー使用量削減	8100Mwh
用水使用量削減	32600t